



日進北小だより

平成30年12月3日
第8号

TEL 048-663-1842

<http://nisshinkita-e.saitama-city.ed.jp>

学校教育目標

心身ともに健康で、自ら学び、自ら考え、判断し、行動できる子どもを育成する

質の高い学びにむけて

校長 宇佐見 弘幸

本校では、私が各教室の授業を参観する教室訪問を実施しています。教室で児童がどのように学習しているのか、どのような学習活動が展開されているのかなどを知ることを目的としています。本年度は、各学期2回程度実施できるようにしています。2学期は、9月と11月に実施しました。

9月は、「特別の教科 道徳」の授業を中心に参観しました。新しい学習指導要領が告示され、これまでの「道徳」は「特別の教科」となりました。本校は本年度、さいたま市教育委員会から研究委嘱を受け、4月からよりよい授業をするためにはどうしたらよいか全教職員で研究を進めています。授業は、話し合いの中で、物事を多面的・多角的に考える。自己の生き方についての考えを深める。道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てるということを中心に行います。つまり、話し合いをどれだけ充実させられるかが、大変重要になります。授業を見てみると、教材をわかりやすく伝えられるようにする。登場人物の気持ちを引き出せるようにする。自分の考えを整理するためにワークシートを活用するなどの工夫が随所にみられるようになってきました。これに伴い、児童の発言が活発になり、内容的にも優れたものになってきたように感じています。

11月は「算数」の授業を中心に参観しました。さいたま市では「確かな学力をはぐくみ、個性を生かす教育の推進」を学校教育の指針の一つに掲げています。これを受けて本校では、本年度の重点の一つを「学力の向上」としています。「学力」というと、テストなどで点数化しやすい知識量で評価しがちです。しかし、基礎的・基本的な知識及び技能、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力、主体的に取り組む態度などを総合して「学力」と捉えます。すなわち、「生きる力」をはぐくむ根幹といえます。授業の中での学力向上のための取組としては、自分の考えをもたせることのために、自分の力で考える時間を確保する。自分の力で考えたことをノートに書いてみる。少人数のグループで考えを伝えあう。学習内容を定着させるために、習熟の問題を解く時間を確保することなどに取り組んでいます。これらによって、課題に対して、いろいろな解き方を考えられるようになり、わかりやすく表現できるようになってきたように感じています。

児童の学びは、日々の授業に支えられています。よりよい授業を展開することは、教員の大切な役目です。日々の授業が向上し、児童の学びがより質の高いものとなるように、今後も全教職員で取り組んでまいります。

まもなく、平成最後の年末をむかえます。この一年間も本校の教育活動に深いご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。新しい年もどうぞよろしくお願いたします。